

令和2年度事業計画

自 令和2年10月1日 至 令和3年9月30日

I. 展覧会

1. 第49回「日本の書展」直轄展

(1) 関西展

会 期 令和3年5月3日（月・祝）～5月5日（水・祝）

会 場 マイドームおおさか（1階・2階展示ホール A～D）

主 催 （公財）全国書美術振興会 産経新聞大阪本社

後 援 文化庁（申請予定）

協 賛 （公社）日本書芸院

~~開催披露祝賀会 令和3年5月3日（月・祝）12：30～ ⇒ 開催中止~~

~~シティプラザ大阪 2階 「旬」~~

~~ギャラリートーク 令和3年5月4日（火・祝）14：00～ ⇒ 開催中止~~

~~マイドームおおさか 1階展示ホール~~

現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品約110点、ならびに、関西2府5県、山口県以外の中国4県、四国4県から選出された委嘱・招待・秀拔選作品を併せて展示する。

(2) 九州展

会 期 令和3年5月20日（木）～5月25日（火）

会 場 福岡アジア美術館（7階企画ギャラリーABC・8階交流ギャラリー）

主 催 （公財）全国書美術振興会 西日本新聞社

後 援 文化庁（申請予定）

~~開催披露祝賀会 令和3年5月20日（木）12：30～ ⇒ 開催中止~~

~~ホテルオークラ福岡 3階 「平安の間」~~

~~ギャラリートーク 令和3年5月22日（土）14：00～ ⇒ 開催中止~~

~~福岡アジア美術館 企画ギャラリー~~

現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品約110点、ならびに、九州7県・山口県・沖縄県から選出された委嘱・招待・秀拔選作品を併せて展示する。

(3) 中部展

会 期 令和3年6月1日（火）～6月6日（日）

会 場 愛知県美術館ギャラリー（展示室A～J）

主 催 （公財）全国書美術振興会 中日新聞社

後 援 文化庁 愛知県 岐阜県 三重県 名古屋市

各県市教育委員会 東海テレビ放送（以上 申請予定）

※ 愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、各県市教育委員会の後援名義申請は行わず、文化庁後援名義申請のみとする。

協 賛 （公社）中部日本書道会

~~開催披露祝賀会 令和3年6月3日（木）18：00～ ⇒ 開催中止~~

~~名古屋東急ホテル 3階 「ヴェルサイユ」~~

~~ギャラリートーク 令和3年6月5日（土）14：00～ ⇒ 開催中止~~

~~愛知県美術館ギャラリー~~

現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品約110点、ならびに、愛知県・岐阜県・三重県の3県から選出された委嘱・招待・秀拔選作品を併せて展示する。

(4)東京展

会 期 令和3年6月10日(木)～6月20日(日) 6月15日(火)は休館日
 会 場 国立新美術館(展示室1A・1B・1C・1D)
 主 催 (公財)全国書美術振興会 共同通信社
 後 援 文化庁(申請予定)

~~開催披露祝賀会 令和3年6月10日(木) 12:00～ ⇒ 開催中止
 ホテルオークラ東京(プレステージタワー) 1階 「平安の間」
 ギャラリートーク 令和3年6月12日(土) 14:00～ ⇒ 開催中止
 令和3年6月19日(土) 14:00～ ⇒ 開催中止
 国立新美術館 展示室~~

現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品約110点、ならびに北海道・東北・関東甲信越・富山県・石川県・静岡県から選出された委嘱・招待・秀抜選作品を併せて展示する。また、東京展会場には、関西展委嘱・中部展委嘱・九州展委嘱作品も展示する。

2. 第48回および第49回「日本の書展」巡回展

会 期 第48回巡回展 令和2年7月～令和3年4月
 第49回巡回展 令和3年7月～令和4年4月
 会 場 第48回展は地方8カ所で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、現時点で富山展、鳥取展、青森展、広島展の4カ所が開催中止となった。
 主 催 (公財)全国書美術振興会 共同通信社 各地元新聞社
 後 援 文化庁(第48回展は使用許可済み、第49回展は申請予定)
 現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品(第48回展は119点)に、各地元から選出された作品を併せて展示する。
 令和2年度事業としては、令和2年10月から令和3年4月開催の第48回巡回展、その後、詳細は未定だが、令和3年7月から9月までの第49回巡回展が開催される予定。

第48回「日本の書展」巡回展 実施会場一覧

| | 開催地 | 地元主催新聞社 | 会 場 | 会 期 | 地元作品数 | 入場者数 |
|---|--------|------------|-------------------|---------------|-------|------|
| 1 | 富山 富山市 | 北日本新聞社 | 富山県民会館 | 2.7.16～7.19 | 開催中止 | |
| 2 | 鳥取 米子市 | 山陰中央新報社 | 米子市美術館 | 2.8.28～8.31 | 開催中止 | |
| 3 | 青森 青森市 | 東奥日報社 | New's TO-Oビル3階催事場 | 2.9.4～9.7 | 開催中止 | |
| 4 | 広島 広島市 | 中国新聞企画サービス | 福屋広島駅前店 8・9階催事場 | 2.10.1～10.6 | 開催中止 | |
| 5 | 岡山 岡山市 | 山陽新聞社 | 天満屋岡山店 6階 葦川会館 | 2.10.14～10.19 | — | — |
| 6 | 奈良 奈良市 | 奈良新聞社 | 奈良県文化会館 | 3.2.17～2.21 | — | — |
| 7 | 長野 長野市 | 信濃毎日新聞社 | ながの東急百貨店 | 3.3.4～3.9 | — | — |
| 8 | 茨城 水戸市 | 茨城新聞社 | 茨城県立県民文化センター | 3.4.10～4.15 | — | — |

※白部分が、今年度(令和2年度)事業

3. 第49回「日本の書展」東京展 公募臨書

<展覧会>

会 期 令和3年6月10日(木)～6月20日(日) 6月15日(火)は休館日
 ※ 作品掛け替えをする場合
 前期展示 令和3年6月10日(木)～6月14日(月)の5日間
 後期展示 令和3年6月16日(水)～6月20日(日)の5日間
 会 場 国立新美術館(展示室1Dの一部)
 主 催 (公財)全国書美術振興会
 後 援 文化庁(申請予定)

<審査（鑑別）>

日 時 令和2年12月17日（木）の予定
会 場 国立新美術館審査室
審査委員 全国書美術振興会役員（会長・理事長）・常務理事・理事19名が、隔年交代で審査に当たる。

第48回「日本の書展」関西展・中部展が開催中止となったために、令和2年6月開催の東京展および九州展でのみ「公募臨書」出品要項の配布を開始し、ホームページ等でも出品を募っている。出品受付期間は令和2年9月15日～9月30日の約2週間。

第49回審査会は、全員マスクを着用し、審査委員の人数を減らす、作品掲出のアルバイトの人数を減らす、座り位置や立ち位置の間隔を広く保つなどの感染予防対策をして行う予定。国立新美術館1D会場の一部を使用して、第49回「日本の書展」東京展と同時開催で展示を行う。詳細は出品要項参照。

II. 「子どもゆめ基金」助成子ども体験プログラム（ワークショップ）

名 称 筆もじにトライ！2021 ～オリジナルうちわを作ろう～
日 時 令和3年7月17日（土）、18日（日）、19日（月・祝）の3連休
午前、午後の1日2回の実施を予定
場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター
カルチャー棟 2階 「和室」「美術室」
対 象 3歳～小学校3年生までの子ども（保護者同伴）
※借用施設の定員数によって、対象範囲を調整する可能性あり

体験人数 1回10名、3日間で6回を実施し、計60名程度を予定

参加費・材料費 無料

助 成 独立行政法人国立青少年教育振興機構・子どもゆめ基金を申請予定

2021年夏に延期になったオリンピック・パラリンピック開催と、終息の見通しが付かない新型コロナウイルス感染症の両方を考慮し、①オリンピック・パラリンピックの開催期間に実施しない、②オリンピック・パラリンピックの開催に伴い文化活動を行う可能性のある施設（日本芸術院など）を今回は借用しない、③感染状況で不確定になりそうな夏休み期間に実施しない、④冷房と換気が十分に行える施設を選択するという点を踏まえ、日時・会場を選択した。また、1回の体験人数を半分以下に減らして密接を緩和し、実施回数を減らして消毒作業に充当するなど、最大限の感染予防対策を行って開催する予定。

III. 書写・書道教育推進協議会

事業計画は別紙にて

IV. 日本書道ユネスコ登録推進協議会

事業計画は別紙にて

V. 機関誌および書美術に関する出版物刊行ほか

1. 展覧会作品集等の制作

(1) 第49回「日本の書展」直轄展

- ① 図録
- ② 出品者本人の作品ブロマイド
- ③ 出品者名簿

- ④案内はがき
- ⑤ポスター
- ⑥外国人向け展覧会概要リーフレット

(2) 第49回「日本の書展」巡回展

図録（直轄展と同図録）

(3) 第49回「日本の書展」公募臨書

- ①入選者名簿
- ②入選證

(4) 第50回「日本の書展」公募臨書

出品要項

2. 「子どもゆめ基金」助成子ども体験プログラム「筆もじにトライ！2021」の制作

応募チラシ

3. 機関誌「書美術」第38号の刊行

4. ホームページの更新

VI. 講演会・研究会等

書美術の振興のために、東京および各地で講演会、研究会を開く。

VII. 書美術功労者の顕彰

書美術の振興に功績のあった個人、団体を表彰する。

以 上